

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 5



瀬戸内国際芸術祭 2025

Setouchi Triennale 2025

栗島総括報告書



| 総括報告 | 目次 |

	ページ
01 開催概要	01
02 アートプロジェクト・イベント	03
03 来場者数	04
04 重点的な取組み・新しい取組み	06
4-1 オープニング記念セレモニー	
4-2 地元子ども達との連携プログラム	
① 高瀬高校ミライ塾との連携	
② 香川西高校との連携	
③ 笠田高校との連携	
④ まちづくり推進隊詫間との連携	
4-3 あわしま鬼瓦クエスト	
4-4 週替わり食堂プロジェクト	
4-5 三豊をもっと好きになるアイデアおにぎりコンテスト	
4-6 漂流郵便局 特別開局	
4-7 市内事業者によるワークショップ	
4-8 経面臨時駐車場の有料化	
4-9 クロージングセレモニー	
05 交通の整備	14
06 来場者対応	20
07 ボランティアサポーターの活動	26
08 広報	28
09 視察・校外学習の受入れ	32
10 島民の評価	33
11 来場者、市内事業者の評価	37
12 芸術祭開催による効果	45
13 エピソード集	47

01

開催概要

(1) 目的

受入態勢の整備及びイベントの企画・実施を図ることで、
芸術祭の円滑な運営と地域との連携体制の構築を目指す。

(2) 開催期間

春 2025年4月18日(金) — 5月25日(日) 38日間
 夏 2025年8月1日(金) — 8月31日(日) 31日間
 秋 2025年10月3日(金) — 11月9日(日) 38日間
 計107日間

(3) 会場

瀬戸内の島々と沿岸部 (全17エリア)



(4) テーマ 海の復権

(5) メインビジュアルポスター



地元中高生の集団によって、日常の中の非日常の風景を作り上げた。

瀬戸内海の、見慣れた風景の中に巻き起こる特異な時間、すなわち「瀬戸内国際芸術祭」を、詩のような写真表現で演出。海のイベントの再来を告げるビジュアル。

(6) 作品鑑賞パスポート（オールシーズン、春、夏、秋）



(7) 公式ウェブサイト



(8) 公式アプリ



(9) 粟島会場ウェブサイト

瀬戸内三豊の島旅ガイド「℃」



02

アートプロジェクト・イベント

2-1. 参加作家 作品鑑賞時間 / 10:00~16:30

- 芸術祭全体では、37の国と地域から、222組が参加、256作品を制作した。**過去最多**25イベントが開催された。
- 粟島では、4の国と地域から、7組が参加、9作品を制作した。1イベントが開催された。

番号	場所	作家名	作品名・プロジェクト名
aw01-1 2013	旧粟島中学校 (粟島芸術家村)	日比野 克彦 (日本)	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト ソコソコ想像所
aw01-2 2016, 2025	ル・ポール粟島	日比野 克彦 (日本)	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト Re-ing-A
aw06 2016	旧粟島幼稚園	エステル・ストッカー (イタリア)	思考の輪郭
aw14 2025	旧粟島中学校 (粟島芸術家村)	柏木崇吾 (日本)	粟島の記憶を染める
aw15 2025	旧粟島中学校 (粟島芸術家村)	タオリグ・サリナ (中国内モンゴル自治区)	航海する記憶の船-ノマドギャラリーin 粟島
aw16 2025	武内商店周辺	青野 文昭 (日本)	瀬戸内粟島古家滞留積層脳海画像・2025
aw17 2025	港周辺 旧粟島小学校	トゥアン・マミ (ベトナム)	《ボーダレス》ベトナム移民の庭(No.11) 灯台の庭 / 移民の庭の神殿
aw18 2025	旧粟島郵便局	グエン・チン・ティ (ベトナム)	Awashima, Fall

2-2. 公式イベント

せっぷくぴすとるず瀬戸内神出鬼没 | 切腹ピストルズ

- 11月2日(日)、粟島港付近を移動しながら、主に来場者のお見送りのため、計10回演奏した。



←島民からテープで
お見送りを受ける様子



03

来場者数

3-1. 公式来場者数 **全体**

- ・春会期が 320,668 人、夏会期が 282,702 人、秋会期が 480,758 人で、総来場者数は 1,084,128 人となった。(前回 2022 年比: 1.49 倍)
- ・秋会期の来場者数は、過去 6 回のうち最多となった。

会場別来場者数

(人)

会場	芸術祭2025の来場者数(107日間※1)				参考 芸術祭2022の来場者数 (105日間※1)
	春会期 38日間 (4/18-5/25)	夏会期 31日間 (8/1-8/31)	秋会期 38日間 (10/3-11/9)	計	
直島	109,706	90,332	138,421	338,459	166,737
豊島 ※2	49,268	36,727	59,369	145,364	97,391
女木島	21,256	13,063	27,008	61,327	44,553
男木島	20,728	11,458	24,434	56,620	40,228
小豆島 ※2	46,607	34,078	59,436	140,121	123,382
大島	2,755	2,120	3,329	8,204	6,517
犬島	12,754	8,329	17,324	38,407	34,503
高松港エリア ※2,3	18,258	14,569	14,617	47,444	62,131
宇野港エリア ※3	7,785	5,246	8,913	21,944	35,479
瀬戸大橋エリア ※3, 4	31,551	-	-	31,551	44,790
志度・津田エリア(志度)※5	-	32,090	-	32,090	-
引田エリア	-	34,690	-	34,690	-
宇多津エリア	-	-	42,783	42,783	-
本島	-	-	25,781	25,781	17,679
高見島 ※2	-	-	20,666	20,666	21,596
栗島	-	-	21,660	21,660	15,163
伊吹島	-	-	17,017	17,017	13,167
合計	320,668	282,702	480,758	1,084,128	723,316

【来場者数のカウントについて】

瀬戸内国際芸術祭は、各会場に作品が分散しており、屋外展示作品もあることから、芸術祭のために訪れた実人数やすべての作品ごとの来場者数を把握することができません。

作品の配置状況や来場者の鑑賞ルート等を考慮のうえ、有料施設など入場者数を計測可能な「基準施設」を各会場に設定し、会場内の基準施設への来場者数の合計をその会場の来場者数、各会場の来場者数を合計したものを全体の来場者数としています。(過去の芸術祭においても同様)

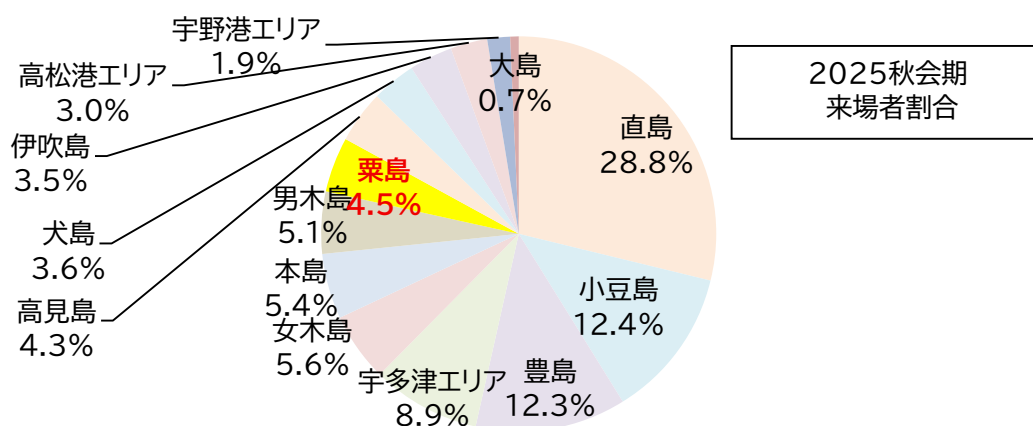
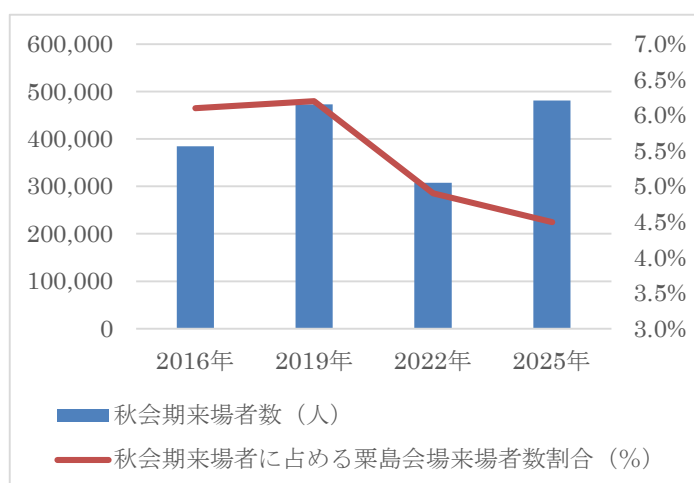
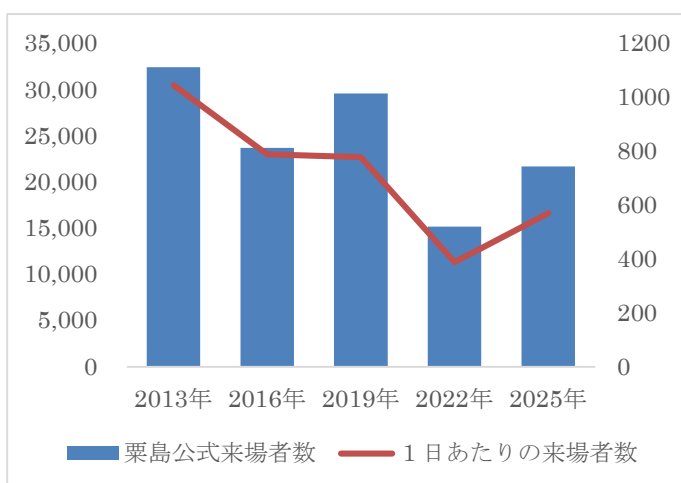
【栗島での基準施設】

aw01-1, aw01-2	日比野克彦	栗島芸術家村
aw14,aw15	柏木崇吾、タオリグ・サリナ	
aw18	グエン・チン・ティ	Awashima, Fall

3-2. 公式来場者数 粟島

- ・ 38日間（休島日2日を除くと実質 36 日間）で、21,660 人となった。（前回 2022 年比：1.42倍）
- ・ 過去 5 回の開催のうち、公式来場者数 および 1日あたりの来場者数 は、下から2番目となった。
- ・ 秋会期全会場の来場者数に占める粟島会場への来場者数の割合は、過去最低となった。

粟島会場	2013	2016	2019	2022	2025
来場者数(人)	32,412	23,668	29,561	15,163	21,660
開催日数（※2022～休島日除く）	31	30	38	38	36
割合(人/日)	1,046	789	778	399	602
秋会期全会場来場者数(人)	-	384,762	472,656	307,700	480,758
秋会期全会場来場者に占める 粟島来場者数割合(%)	-	6.1%	6.3%	4.9%	4.5%
秋会期会場数	-	13	13	13	14



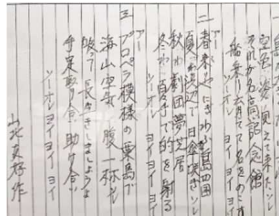
04

重点的な取組み・新しい取組み

粟島会場では、単なる作品鑑賞にとどまらず、島民、来場者、子ども達を中心とした地域住民が主体的に関わる多彩な体験型コンテンツを実施した。

4-1. オープニング記念セレモニー ～The Drift 漂流の島～ 実行委員会
 (MITOYO DANCE CREATORS! によるダンス公演) / 10月5日(日)

- 芸術祭の開幕を記念して、粟島会場においてオープニング記念セレモニーを開催した。
- 本セレモニーでは、三豊市の地域おこし協力隊・前納依里子氏が主宰する市民参加型ダンスクラブ「MITOYO DANCE CREATORS!」が、島民への丁寧な聞き取りをもとに、粟島の自然や歴史的背景を題材としたダンスシアターパフォーマンスを上演した。
- また、三豊市出身のシンガーソングライターTOMOKA 氏の参加に加え、詫間中学校吹奏楽部が演奏を担当し、音楽と身体表現が一体となった多世代協働の公演を展開した。
- 島の最高齢で皆が慕うおじいちゃんが作った詩にメロディがつき、「あわしま音頭」が生まれた。70 年前の船乗りの姿で、旧粟島小学校を舞台にみんなで円になって踊り、出演者・島民・来場者が同じ空間と時間を共有する、芸術祭の開幕を祝う一体感が創出された。



4-2. 地元子ども達との連携プログラム

- 芸術祭を通じた次世代育成および地域参画の促進を目的として、3校の地元高校の生徒および市内小中学生と連携した。

① 高瀬高校ミライ塾との連携 実行委員会

ミライ塾とは、生徒が自分自身の将来を想像し、それを実現できる人間になるために、進路や職業観の形成に向けた学習・体験に取り組む、高瀬高校「総合的な研究の時間」の学びとして、令和2年度よりスタートした学官連携事業

(1) びわを活用した商品開発プロジェクト

- 三豊市特産のびわを活用し、地元飲食店や農家と連携しながら商品開発を実施し、粟島会場の島食堂にて販売した。
- 生徒は、農家訪問による素材理解、商品企画、試作および改良、ラベル・ポスター制作、販売実践および売上分析まで一連のプロセスを主体的に担った。
- 地域特産品の新たな価値創出に加え、高校生が商品開発から販売戦略までを経験する実践型キャリア教育としても意義あるものとなった。



(2) 観光プロモーション企画

- 高校生ならではの視点で、来場者が粟島での芸術祭を楽しむことができるよう情報発信をした。
- 生徒は、市内観光地の現場調査を経て、チラシを制作したり、粟島の休憩所に市内観光地の紹介ボードを設置したり、インスタライブ配信など、様々な手法で発信を行った。
- 高校生が地域の資源を主体的に学び、発信者として関わることで、観光振興と次世代育成を同時に推進する試みとなった。



② 香川西高校との連携

(1) おもてなしプロジェクト 実行委員会

- 普通科キャリアコースの生徒が「ミライ行動学」の時間を活用し、粟島港で来場者への声かけを行うとともに、自ら制作した記念品(しおり)を手渡すなど、来場者との直接的な交流を行った
- また、芸術祭会場となる粟島の海岸清掃を実施し、来場環境の向上および環境保全活動にも主体的に参画した。



(2) 「スマイルプロジェクト同好会」との連携 実行委員会

- スマイルプロジェクト同好会とは、高校生が地域の行事・活動に主体的に関わり、交流と貢献を通じて社会参加意欲や自己実現を育むボランティアプロジェクト。
- 会期前には作品制作を、会期中には作品受付(来場者対応)や鬼瓦クエストの運営サポート、海岸清掃など、計3回に渡り活動した。
- 高校生が単発的なボランティアにとどまらず、継続的に関わることで、島民からも「また来てくれたんな」という声が聞かれ、新たな交流が生まれた。



③ 笠田高校との連携

お弁当開発プロジェクト 実行委員会

- 授業の一環として、生徒一人ひとりが地元食材や郷土料理を調査し、地産地消・SDGs の視点を踏まえたお弁当を企画した。
- 見栄え・彩り・容器・ネーミングまで含めた総合的な商品設計を行い、市内事業者と連携して商品化したお弁当 2 種類を、芸術祭会期中、ル・ポール粟島にて販売した。
- 生徒が来場者に直接販売する日もあり、各日限定 10 食が販売開始後短時間で完売するなど、来場者から高い評価を得た。
- 高校生の学びを観光商品へと接続する実践型人材育成モデルを構築するとともに、地域資源の再発見と地元食材の付加価値向上に寄与した。



④ まちづくり推進隊詫間との連携

子どもガイド 連携事業

- 市内の子どもたちが自身が島の文化や歴史・見どころを調べ、発見した内容を整理して、ガイドとして来場者を案内した。
- 子どもたちにとって、コミュニケーション能力の向上と地域の学びの機会となった。
- 3年前にも参加した来場者が再訪し、子どもたちの成長を喜ぶ場面も見られた。

実績 土日祝の 14 日間開催

参加者 67人（内訳： 10月…30人、11月…37人） ガイド のべ55人



芸術祭を通じて、子どもたちが「参加する側」ではなく「支える側」として活躍できたことは、将来の地域への思いや人づくりにつながる大切な一歩となりました。本市の温かみのある地域性が自然と表れた取組でもあります。

4-3. あわしま鬼瓦クエスト（会期終盤の土日祝 / 計5日間） 実行委員会

- 粟島各所に点在する瓦や鬼瓦を、地図やヒントをもとに探し歩く体験型ウォークラリーを実施した。島内回遊を促進するとともに、かつての瓦産業の歴史や地域文化の再発見につなげた。
- 「ヒント→発見」という参加型の仕掛けに加え、島民や学生が「瓦人」として協力した。参加者は瓦人からヒントをもらいながらクエストを達成し、島民と来場者の交流も創出した。中には車で案内してくれる島民もあり、来場者が島の人々の温かさに触れる場となった。

実績 会期後半土日祝の5日間開催

参加者 556人（同期間の来島者 3,383人の約16%）



4-4. 週替わり食堂プロジェクト 実行委員会

- かつて島の食堂として親しまれていた空き店舗を活用し、11:00~14:00 を中心に営業する「週替わり島食堂」を実施した。高瀬高校を含む延べ10事業者が入替わり出店し、多様な食の提供を行った。
- 週替わりの出店形態により、島民からは「今日は何があるのか」との期待感が生まれ、懐かしい場所への再訪機会を創出した。また、島民同士が集い交流する姿も見られるなど、地域コミュニティの再活性化にもつながった。来場者からも好評で売り切れが続出した。
- 島民と観光客が同じ空間で食を通じて交流する場となり、島内飲食機能の強化、観光消費の拡大、空き店舗活用による地域活性化に寄与した。



4-5. 三豊をもっと好きになるアイデアおにぎりコンテスト 実行委員会

- 三豊市の食の魅力や食材を活用したおにぎりの創作を通じて、参加者自身が三豊の特色を再発見し、郷土への関心を高める機会となった。また、市民による投票も実施し、参加型の企画として実施した。
- 応募総数99件の中から最優秀賞に選ばれた「紫雲出山のあじさいおにぎり」は、高瀬町産のマメ科植物のバタフライピーを使用した青色に着色、梅肉を調味したふりかけやごま、ちりめんを合わせて味付けをしたもの。会期中、ル・ポール粟島で1日 20 食限定で販売し、来場者から好評を得た。
- 次点の優秀賞には「仁尾酢仕立てのアスパラベーコンにぎり」「タコのアヒージョおにぎり」の 2 点が選出された。



4-6. 漂流郵便局 特別開局 連携事業

- 粟島を代表する観光資源であり、多くの来島者の目的ともなっている 漂流郵便局 を特別開局した。
(通常、土曜日みの開局のところ、会期中は金・土・日・祝日に拡大し、延べ 20 日間開局した。)
- 2013 年の瀬戸芸作品を活用したアートプロジェクトであり、来場者は、手紙を出したり、読んだりする体験を通じて粟島との思い出を形に残すことができ、**粟島とのつながり**や滞在体験の価値を高めた。
- **半数以上がリピーター**であり、自らが昔出した手紙を探しに来られる方も多かった。
- 手紙をゆっくり読みたい、中田局長に会いたい、という来訪動機の方が多くいた。

会期中の手紙の数は、約 760 通。2013 年の開局から通算で、約 68,000 通の手紙が届いている。

実績 会期中の金土日祝 20 日間開局

来場者数	計	大人	こども
10 月	2,409	2,258	151
11 月	1,246	1,156	90
合計	3,655	3,414	241



本年度の特別開局では、ご子息とまちづくり推進隊隊員の方々为主体的に関わり、局長の志を受け継ぐかたちで運営にご協力いただきました。

秋会期最終日にご逝去された中田勝久局長のこれまでのご尽力に、心より敬意を表します。

4-7. 市内事業者によるワークショップ 実行委員会

- 粟島内の2カ所（開発総合センター1階 / ギフトショップにしやま）で、市内事業者によるワークショップを実施した。
- アート鑑賞に加え、「体験する」機会を創出することで、来場者の滞在価値を向上させるとともに、地域事業者の魅力や技術を直接発信する場となった。
- 芸術祭を通じて、**地域事業者の販路拡大や認知向上**につなげる取組を行い、観光と地域産業の連携強化に取り組んだ。



4-8. 経面臨時駐車場の有料化（500円/台） 市

- 安定的かつ持続可能な運営体制の構築と、来島者の混雑緩和を目的に、臨時駐車場を有料化し、1台あたり500円を徴収した。
- 現場対応は丁寧かつ臨機応変に行われ、**来場者からの苦情はなく、円滑に運営ができた。**来場者の満足度向上にも寄与するとともに、安定的な運営基盤を確保した。

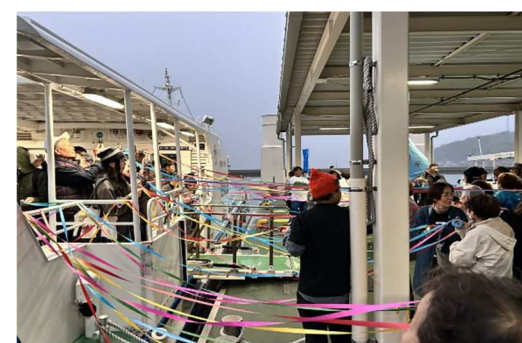
実績 会期中 36 日間

台数	2,361 台
使用料	1,180,500 円



4-9. クロージングセレモニー 実行委員会

- 天候が懸念される中、最終日の11月9日(日)にクロージングセレモニーを開催した。
- セレモニーでは、初の連携となる「瀬戸内ウインドオーケストラ」が出演し、瀬戸内にまつわる楽曲をはじめ、来場者・島民とともに盛り上がる全8曲(アンコール含む)を披露し、粟島会場を華やかに締めくくった。
- 最後は「蛍の光」の生演奏の中、島民有志によるテープでの見送りを実施。来場者からは芸術祭の閉幕と粟島との別れを惜しむ声が多く聞かれ、涙を流す姿も見られた。
- こうして、多くの人々に支えられた38日間にわたる瀬戸内国際芸術祭2025が閉幕した。

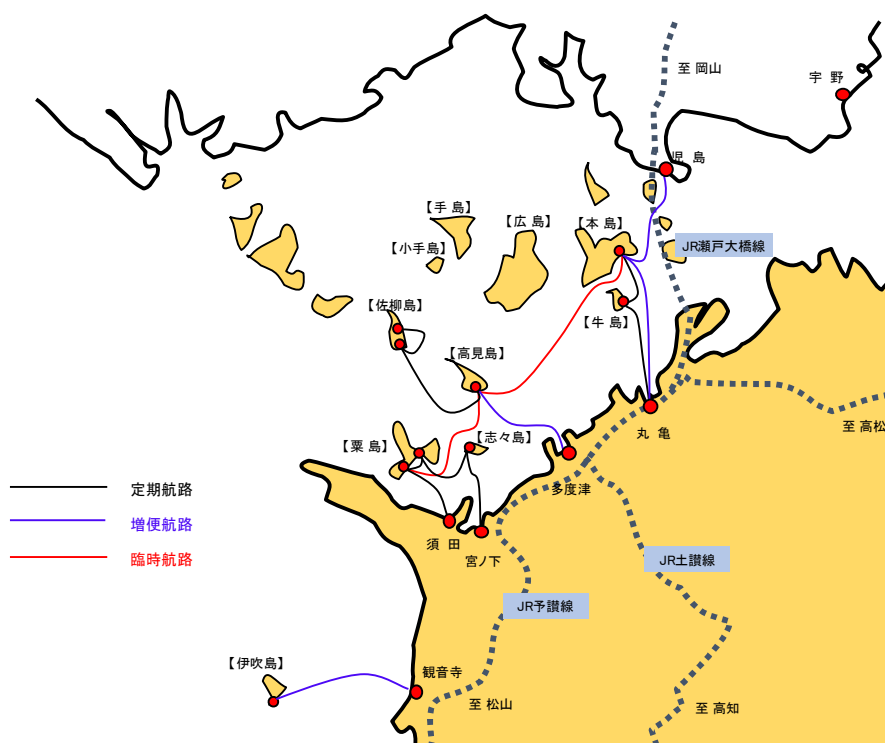


交通の整備

5-1. 海上交通

一 航路事業者の協力を得て、前回同様、来場者のアクセス向上を図るため、芸術祭会期中に、西讃地区(本島～高見島～粟島)を結ぶ、臨時航路を開設した。(下図の赤線) **1日6便**

■航路図(中西讃)



▶臨時航路乗船者数 **粟島港⇄高見港**

粟島発着合わせて 7,060 人であった。

前回(R4)と比較して、2,088 人増加した。(前回比:1.42 倍)

(単位:人)

	R7	R4	R1	増減 (R4→R7)	前回比 (R4→R7)
粟島発	3,224	2,281	4,090	943	141.3%
粟島着	3,836	2,691	4,468	1,145	142.5%
計	7,060	4,972	8,558	2,088	142.0%

※粟島港にて乗降をカウント

▶定期航路乗船者数 須田港→粟島港

- ・ 会期中の乗船者数は、12,587人で、前回と比較して1,955人増加した。(前回2022年比:1.18倍)
- ・ 芸術祭会期外(R6)の同月と比較して、9,568人増加した。(前年2024年比:4.16倍)

R7				R6 (会期外)			R4			前回比 (R7-R4)
10/3	金	162		10/4	金	-	9/30	金	181	-20
10/4	土	419		10/5	土	-	10/1	土	369	50
10/5	日	591	OPセレモニー	10/6	日	-	10/2	日	357	234
10/6	月	178		10/7	月	-	10/3	月	152	26
10/7	火	194		10/8	火	-	10/4	火	129	65
10/8	水	202		10/9	水	-	10/5	水	120	82
10/9	木	148		10/10	木	-	10/6	木	117	31
10/10	金	231		10/11	金	-	10/7	金	151	80
10/11	土	522		10/12	土	-	10/8	土	522	-1
10/12	日	598		10/13	日	-	10/9	日	545	53
10/13	月	542		10/14	月	-	10/10	月	402	140
10/14	火	207		10/15	火	-	10/11	火	164	43
10/15	水	181		10/16	水	-	10/12	水	134	47
10/16	木	178		10/17	木	-	10/13	木	229	-51
10/17	金	256		10/18	金	-	10/14	金	208	48
10/18	土	538		10/19	土	-	10/15	土	426	112
10/19	日	501		10/20	日	-	10/16	日	421	80
10/20	月	266		10/21	月	-	10/17	月	100	166
10/21	火	217		10/22	火	-	10/18	火	170	47
10/22	水	189		10/23	水	-	10/19	水	80	109
10/23	木	71	休島日	10/24	木	-	10/20	木	229	-159
10/24	金	292		10/25	金	-	10/21	金	228	64
10/25	土	545		10/26	土	-	10/22	土	509	36
10/26	日	400		10/27	日	-	10/23	日	548	-148
10/27	月	296		10/28	月	-	10/24	月	229	67
10/28	火	275		10/29	火	-	10/25	火	177	98
10/29	水	289		10/30	水	-	10/26	水	189	100
10/30	木	81	休島日	10/31	木	-	10/27	木	168	-88
10/31	金	205	雨*	11/1	金	-	10/28	金	182	23
11/1	土	544		11/2	土	-	10/29	土	477	67
11/2	日	857	公式イベント	11/3	日	-	10/30	日	507	350
11/3	月	539		11/4	月	-	10/31	月	155	384
11/4	火	246		11/5	火	-	11/1	火	116	130
11/5	水	273		11/6	水	-	11/2	水	176	97
11/6	木	215		11/7	木	-	11/3	木	533	-318
11/7	金	283		11/8	金	-	11/4	金	259	24
11/8	土	524		11/9	土	-	11/5	土	465	59
11/9	日	344	クロージング	11/10	日	-	11/6	日	508	-165
合計		12,587		合計		3,019	合計		10,632	1,955

※数字は片道の乗船者数

5-2. 陸上交通

- 前回来場者の7割が交通手段として利用した自家用車に対応する為、
経面工業団地内にある市有地を臨時駐車場として開設した。今回から有料化

駐車場名称	台数	備考
経面臨時駐車場	350	仮設トイレ・ユニットハウス設置

実績

利用台数	駐車料金
2,361	1,180,500

- 前回同様、臨時駐車場～須田港、JR 詫間駅～須田港 間を結ぶ2路線で無料シャトルバスを運行した。

運行区間	便数/配車数
JR 詫間駅⇔須田港	平日 6便 / バス1台
	土日祝 9便 / バス2台
経面臨時駐車場⇔須田港	平日 7便 / バス2台
	土日祝 13便 / バス4台

※ バスは小型～中型を利用

- 来場者の利便性を考慮し、シャトルバス乗降所を前回から変更して須田港内に設置した。
- 須田港駐車場は、降雨時に大きな水たまりが生じるなど不便な状況であったことから、地面を整地し砂利を敷設することで、利用環境の改善を図った。

【施工前】



【施工後】



経面臨時駐車場利用状況（駐車可能台数 350台） 前回データなし

- ・ 36 日間の合計利用台数は **2,361 台**であった。
- ・ 日平均は約 65.6 台であった。**最大利用日は 204 台、最小利用日は 12 台**と、約 20 倍の差が見られた。
- ・ 決済方法は、**現金が 9 割以上**を占めた。

日付		台数	合計金額	現金	クレジット	QR	ミトペイ
10/3	金	20	10,000	10,000			
10/4	土	55	27,500	26,500		1,000	
10/5	日	102	51,000	44,500	3,000	3,500	
10/6	月	22	11,000	11,000			
10/7	火	22	11,000	9,000		2,000	
10/8	水	31	15,500	13,500	500	1,500	
10/9	木	20	10,000	9,500	500		
10/10	金	27	13,500	12,500	500	500	
10/11	土	110	55,000	47,000	500	7,500	
10/12	日	144	72,000	59,000	2,000	11,000	
10/13	月	119	59,500	53,000	2,000	4,500	
10/14	火	26	13,000	12,500		500	
10/15	水	28	14,000	13,500		500	
10/16	木	21	10,500	9,500		500	500
10/17	金	41	20,500	19,000		1,500	
10/18	土	111	55,500	51,000		4,500	
10/19	日	120	60,000	53,500	500	6,000	
10/20	月	42	21,000	20,500	500		
10/21	火	32	16,000	15,500		500	
10/22	水	24	12,000	12,000			
10/23	木				休島日		
10/24	金	64	32,000	31,000		1,000	
10/25	土	107	53,500	53,000	500		
10/26	日	91	45,500	45,500			
10/27	月	47	23,500	21,000	1,000	1,500	
10/28	火	45	22,500	21,500		1,000	
10/29	水	55	27,500	27,000		500	
10/30	木				休島日		
10/31	金	12	6,000	6,000			
11/1	土	101	50,500	46,000	1,000	3,500	
11/2	日	204	102,000	97,000	500	4,500	
11/3	月	134	67,000	63,000	500	3,500	
11/4	火	47	23,500	21,500	500	1,500	
11/5	水	58	29,000	26,000	500	2,500	
11/6	木	42	21,000	20,000	500	500	
11/7	金	54	27,000	26,500		500	
11/8	土	115	57,500	54,000	1,000	2,500	
11/9	日	68	34,000	31,500	1,000	1,500	
		2,361	1,180,500	1,093,000	17,000	70,000	500

無料シャトルバス利用者数 臨時駐車場～須田港 / JR 詫間駅～須田港

- ・ 2路線を合計した利用者数は、15,461 人で、前回と比較して、2,960 人増加した。

(前回 2022 年比:1.21 倍)

- ・ 臨時駐車場発と JR 詫間駅発の利用者数は、それぞれ 9,589 人と 5,872 人であり、比率は約 6:4であった。前回は約 7:3であったことから、公共交通の利用割合は増加している。

また、公共交通利用者数は、**前回(2022年)比 1.74倍**となった。

R7				R4				前回比 (R7-R4)				
日付	経面臨時	J R 詫間駅	合計	日付	経面臨時	J R 詫間駅	合計	経面臨時	J R 詫間駅	合計		
-				9/29	木	77	14	91	-			
10/3	金	73	37	110	9/30	金	109	32	141	-36	5	-31
10/4	土	287	199	486	10/1	土	310	90	400	-23	109	86
10/5	日	482	218	700	10/2	日	380	71	451	102	147	249
10/6	月	82	85	167	10/3	月	97	57	154	-15	28	13
10/7	火	120	96	216	10/4	火	66	39	105	54	57	111
10/8	水	110	95	205	10/5	水	39	22	61	71	73	144
10/9	木	81	53	134	10/6	木	44	39	83	37	14	51
10/10	金	113	149	262	10/7	金	60	36	96	53	113	166
10/11	土	497	247	744	10/8	土	473	191	664	24	56	80
10/12	日	317	582	899	10/9	日	557	199	756	-240	383	143
10/13	月	392	170	562	10/10	月	465	106	571	-73	64	-9
10/14	火	118	118	236	10/11	火	131	59	190	-13	59	46
10/15	水	110	86	196	10/12	水	76	21	97	34	65	99
10/16	木	77	63	140	10/13	木	217	56	273	-140	7	-133
10/17	金	180	122	302	10/14	金	148	93	241	32	29	61
10/18	土	472	221	693	10/15	土	420	140	560	52	81	133
10/19	日	480	230	710	10/16	日	484	99	583	-4	131	127
10/20	月	162	99	261	10/17	月	35	32	67	127	67	194
10/21	火	140	116	256	10/18	火	90	54	144	50	62	112
10/22	水	93	82	175	10/19	水	休島日			-		
10/23	木	休島日			10/20	木	161	74	235	-		
10/24	金	232	147	379	10/21	金	136	67	203	96	80	176
10/25	土	484	238	722	10/22	土	537	174	711	-53	64	11
10/26	日	384	199	583	10/23	日	644	125	769	-260	74	-186
10/27	月	191	163	354	10/24	月	148	70	218	43	93	136
10/28	火	176	128	304	10/25	火	135	62	197	41	66	107
10/29	水	219	135	354	10/26	水	142	58	200	77	77	154
10/30	木	休島日			10/27	木	127	45	172	-		
10/31	金	54	92	146	10/28	金	123	80	203	-69	12	-57
11/1	土	460	314	774	10/29	土	456	174	630	4	140	144
11/2	日	911	387	1,298	10/30	日	612	161	773	299	226	525
11/3	月	587	235	822	10/31	月	100	44	144	487	191	678
11/4	火	167	119	286	11/1	火	80	48	128	87	71	158
11/5	水	208	151	359	11/2	水	100	77	177	108	74	182
11/6	木	155	105	260	11/3	木	548	202	750	-393	-97	-490
11/7	金	214	141	355	11/4	金	152	133	285	62	8	70
11/8	土	495	220	715	11/5	土	434	196	630	61	24	85
11/9	日	266	30	296	11/6	日	536	135	671	-270	-105	-375
	合計	9,589	5,872	15,461		合計	9,449	3,375	12,824	412	2,548	2,960

5-3. 島内交通

① セニアカー 無料

- スズキ株式会社と株式会社スズキ自販香川の協力で、セニアカー(免許不要)を、会期中、ル・ポール粟島で貸出した。
- IoT 技術による見守り機器により、安全安心で自由な移動を実現した。
- セニアカーは、粟島芸術家村事業で滞在する芸術家によりデザインが施され、移動する芸術作品として来島する人にも貸し出しされ、ワクワクする島時間を楽しめるよう活用された。



▶3 台の合計

会期中利用人数	126 名
---------	-------

② キックボード 有料

- 長谷川工業株式会社から、企業版ふるさと納税として寄贈を受けた電動キックボード 5 台(要免許)を、会期中、ル・ポール粟島にて1時間あたり 1,000 円で貸出した。



▶5 台の合計

会期中利用人数	35 名
---------	------

③ グリーンスローモビリティ

乗車人数	10 月	11 月
令和6年(2024)年度	177	145
令和7年(2025)年度	235	195



- 会期中(10月・11月)の2カ月の乗車人数は、前年度の同2カ月と比較して、約**1.2倍**となった。

グリーンスローモビリティ

時速 20 km未満で公道を走行する4人乗り以上の電動モビリティ。

観光客向けの利便性の高い交通手段や高齢者の移動のための交通手段の確保対策と、環境にやさしい低炭素型モビリティ導入を同時に進められる移動手段として有効性が期待されている。

06

来場者対応

全体

- 開幕前の2025年2月から閉幕まで、県実行委員会事務局内に案内所本部を設置し、多言語対応のコールセンターとして、電話やメールによる様々な問合せに対応した。

三豊市

(1) 案内所の運営（4か所）

- 会期中は、三豊市内に4か所の案内所を設け、作品やイベント、交通に関する案内、作品鑑賞パスポートや公式グッズの販売などを行った。
- 各港周辺では、案内スタッフや警備員が乗り場案内や乗船整列を行った。
- 案内所には、救急セットや熱中症対策用具を配備して、救急の場合に対応したほか、忘れ物対応や無料貸し出し用の車いすを配備した。

① JR 詫間駅

開設時間	8:00~12:30 1名対応
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバス乗車案内、乗車人数・時間連絡 ・シャトルバス降車出迎え、忘れ物確認 ・作品、観光、飲食、臨時駐車場案内



② 経面臨時駐車場

開設時間	8:00~18:00 -8:00~13:00 2名対応 -13:00~18:00 1名対応
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金徴収（現金・キャッシュレス） ・シャトルバス乗車案内、乗車人数・時間連絡 ・シャトルバス降車出迎え、忘れ物確認 ・仮設トイレ清掃 ・作品、観光、飲食案内



③ 須田港

開設時間	8:00~18:00 1名対応
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバス降車出迎え、乗船券購入誘導、忘れ物確認 ・シャトルバス乗車案内、乗車人数・時間連絡 ・船の臨時便とバスの調整 ・パスポート販売、引換（現金・キャッシュレス） ・公式グッズ、三豊のお土産販売（現金・キャッシュレス） <p>実績 グッズ： 271 千円 / お土産： 22 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品、観光、飲食案内



④ 粟島

開設時間	9:00~16:30 1名対応
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポート販売、引換（現金・キャッシュレス） ・公式グッズ、三豊のお土産販売（現金・キャッシュレス） <p>実績 グッズ： 1,223 千円 / お土産： 233千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物預かり ・作品、観光、飲食案内 ・トイレ清掃



(2) 島マップの発行

- 公式ガイドブックとは別に、各市町が島・エリアごとに作成する**地域の情報誌**。公式ガイドブックと内容が重複しないよう、作品の位置情報、地域の観光情報、見どころをメインに掲載した。
- **30,000部**を発行し、観光施設、スーパー、公民館・図書館、小中学校を中心に、市内向けに約15,000部を配布した。また、来場者に対しては、15,000部を港で配布した。
- 会期後半に、3,000部を増刷し、来場者に配布した。



←公式ガイドブック
芸術鑑賞のための情報



←粟島 島マップ
島を楽しむための情報

(3) あわしましんぶんの制作

- 会期中、「島内のイベントや飲食情報が複雑で分かりづらい」という課題をスタッフ間で共有した。スタッフ自身も案内に苦慮していたことから、来場者はより不便を感じているのではないかとの問題意識が生まれた。
- そこで、島マップとあわせて配布できる情報ツールとして、手書きによる「あわしましんぶん」を制作。会期後半より、来場者の多い土日祝日に限定して発行を開始した。
- 来場者・島民から好評を得て、島内の回遊促進や滞在満足度の向上につながる取組となった。



粟島 島マップ
島を楽しむための情報（島全体の情報）



あわしましんぶん
島を楽しむための情報（今日のローカル情報）

(4) 看板の制作

- 粟島案内所となる、粟島開発総合センター前に設置している既存の看板の情報が古いことから、情報を更新するため制作し、ここ数年であらたにできたスポットや、モビリティ情報を新たに掲載した。



(5) 休憩スペースの運営 (粟島開発総合センター1階)

- 待合・休憩スペースにおいても来場者楽しんでいただけるよう、高瀬高校の生徒と三豊市地域おこし協力が主体となった企画や市の観光 PR を実施した。
- あわせて、島民が竹と和紙で制作したカモメを天井から吊り下げ、粟島ならではの温かみのあるおもてなし空間を演出した。
- 休憩スペースの一角では地域事業者によるワークショップを開催し、来場者から好評を得た。



(6) 救護所の運営

- 平日の対応を粟島診療所に、休日の対応を三豊市保健師に依頼した。
- 保健師のべ28名は、2025年9月17日(水)に開催した説明会において、三観広域消防本部の救急科より、AEDの使用方法や救急時の電話対応等を中心に、**実践的な講習を受けた。**



	平日	休日
場所	粟島診療所	粟島開発総合センター 休憩スペース
スタッフ数	2名	2名
対応件数	3件	6件
主な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒により顔面を打撲し裂傷を負ったほか、膝に擦過傷を生じたため、救急搬送にて対応した。 ・転倒により膝に擦過傷を負った事案が2件発生した。 ・足部にトゲが刺さる事案が発生した。 ・気分不快を訴える事案が発生した。 ・警備員が卒倒し、その際に救助しようとした職員が転倒、鼻骨骨折を負った。 	

●救急搬送 1件

- 10月18日(土)、負傷者が発生したため、救護所に在中していた保健師1名、運営スタッフ2名(県・市職員)、こえび隊1名が対処した。
- スタッフのみならず、ル・ポール粟島、島民の協力を得て、けがの処置、現場の清掃、船事業者との調整、119番通報等を迅速に行い、負傷者は無事に病院での手当を受け、回復。その日のうちに帰宅した。

(7) 道路案内看板の設置

- 県実行委員会が、来場者がスムーズに移動できるよう、港での案内板や臨時駐車場の場所等を示す標識を作成、設置した。



(8) 混雑対策

全体

- 来場者の平準化を図るため、「混雑予想カレンダー」を2024年11月から公式ウェブサイトで公開した。
- 会期中の全エリアの混雑状況を反映したリアルタイムの「混雑状況マップ」や「明日の混雑予想」を公式ウェブサイトで公開し、来場者への情報提供を行った。
- 公式アプリケーションのプッシュ通知により、混雑の激しい会場・航路を周知し、来場にあたっての注意喚起を行った。

混雑度	混雑状況
E	非常に混雑することが予想され、ほとんどの作品で長時間の待機列が発生し、希望する船便に乗ることができない可能性が高いです。
D	かなり混雑するでしょう。希望する船便に乗ることができない可能性があり、複数の作品で待ち時間の発生が予想されます。
C	特定の作品や交通機関で混雑し、待ち時間が発生する可能性があります。
B	比較的空いているでしょう。
A	スムーズに移動し、ゆったりと作品を鑑賞することができるでしょう。
-	作品は閉館しています。

	10										11																											
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
直島	C	C	C	▲	E	D	D	E	E	E	▲	E	D	D	E	E	▲	E	D	D	E	E	▲	E	D	D	E	E	D	▲	E	E	E	E	E	E		
豊島	C	D	D	E	-	D	D	E	E	E	-	D	D	E	E	E	-	D	D	E	E	E	-	E	E	E	E	E	E	-	E	E	E	E	E	E		
女木島	A	C	C	A	A	A	A	A	C	C	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	C	C	B	B	-	B	B	D	D	C	C	C	C	D	D	
男木島	A	C	C	A	A	A	A	A	C	C	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	C	C	B	B	-	B	B	D	D	C	C	C	C	D	D	
小豆島	A	B	B	A	A	A	A	A	B	C	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	B	B	A	A	-	A	A	C	C	C	B	B	B	B	C	C
大島	A	-	B	A	A	A	A	A	B	C	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	C	C	B	B	-	B	B	D	D	C	B	B	B	B	D	D
犬島	B	B	B	C	-	B	B	B	C	D	B	B	-	B	B	B	B	-	B	B	B	B	C	-	B	B	B	D	D	D	D	B	-	B	B	D	D	
宇多津	A	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	B	B	A	A	A	A	A	C	C	B	B	B	B	B	D	D
本島	A	B	B	A	A	A	A	A	B	C	B	A	A	A	A	B	B	C	A	A	-	A	C	C	B	B	-	B	D	D	C	B	B	B	B	D	D	
高見島	A	B	B	A	A	A	A	A	B	C	B	A	A	A	A	C	C	A	A	-	A	C	C	B	B	-	B	D	D	C	B	B	B	B	B	D	D	
粟島	A	B	B	A	A	A	A	A	B	C	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	C	C	B	B	-	B	D	D	C	B	B	B	B	B	D	D	
伊吹島	A	B	B	A	A	A	A	A	B	C	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	C	C	B	B	-	B	D	D	C	B	B	B	B	B	D	D	
高松港	A	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	C	C
宇野港	A	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	A	B	B	A	A	-	A	A	B	B	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	C	C
引田	-	A	A	-	-	-	-	-	A	A	A	-	-	-	-	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A	A	-	-	-	-	A	A

※休島日は「-」を記載しています。これらの日は芸術祭の屋内作品はご覧いただけません。
 ※直島の「▲」の日は、一部の施設を除き、主要な芸術祭関連施設は休館しています。
 ※★の付いている日は、地元の祭りなど別のイベントが予定されており、会場周辺の混雑が見込まれています。
 ※お時間に余裕を持ってお越しください。
 ※引田エリアは秋会期の会場ではありませんが、一部の作品を休日のみ特別開館します。

三豊市

- 駅・臨時駐車場・港の連携体制を強化し、来場者の動向を共有した。
- 混雑が予想される時間帯には、事業者の協力を得て、増便等の対応を行った。
- 手荷物の船舶等への持ち込みを抑制するため、三豊市観光交流局内や粟島案内所にて手荷物預かりサービスを実施した。

(9) 巡り方のコツ、島・会場ごとの注意事項

全体

- 芸術祭のめぐり方のコツをまとめた「芸術祭巡りの心得」を公式ガイドブック、公式ウェブサイト、公式アプリ等で公開した。
- 会場となる島・エリアごとに異なる環境や事前準備等をまとめた「島・会場ごとの注意事項」を公式ウェブサイトや公式アプリケーションで公開し、来場者に注意を促した。
- 港へのアクセスや芸術祭巡りのコツを紹介する動画を多言語で制作し、公式ウェブサイト上で公開した。

07

ボランティアサポーターの活動

- 地元で開催されている芸術祭に、多くの方に運営面で携わっていただくことで、地元に向けた島の魅力発信をしようと、過去最多の民間事業者や学生に関わっていただいた。
- 作品の案内とともに島・エリアの魅力を来場者に伝えることで、芸術祭を盛り上げた。
- 来場者からは、「粟島は、他の島と比べて人の温かい島ですね！」や「ホスピタリティが素晴らしい！」等の声が聞かれた。

瀬戸内国際芸術祭 粟島 / 運営スタッフのべ人数（会期中）

（単位：人）

	R7 (36日間)	R4 (38日間)	R1 (38日間)	増減 (R7/R4)
海ほたる隊・こえび隊	38	60	124	▲22
まちづくり推進隊詫間	36	-	-	-
民間事業者ボランティア	173	72	64	101
学生ボランティア	105	58	20	47
市職員ボランティア	23	63	167	▲40
市職員動員	130	194	244	▲64
その他	586	842	817	▲220
合計	1,091	1,289	1,436	▲198

※ その他 … 市OB(38人)、委託事業者(288人)、警備員(100人)、産業政策課職員(160人)

※ 会期前後も、46人の海ほたる隊、12人のこえび隊、17人の学生ボランティアのサポートがあった。

※ まちづくり推進隊詫間のR4、R1の人数は、集計していない。

協力企業・団体一覧（50音順 / 19団体）

株式会社 IHI、株式会社いそぎ、大手前丸亀高等学校、株式会社香川銀行、香川大学、香川高等専門学校詫間キャンパス、株式会社金丸工務店、川田工業株式会社、観音寺信用金庫、観音寺市社会福祉協議会、株式会社菅組、四国学院大学香川西高等学校、四国電力株式会社、第一生命株式会社、株式会社ダイナム、仁尾興産株式会社、日本郵政株式会社、株式会社百十四銀行 富士建設株式会社



ノベルティを作成し、

サポーターに御礼の品としてお渡しした。

説明会の実施

- 2025年9月19日(金)、時間帯を2回に分けてスタッフ説明会を開催した。
民間事業者や一般ボランティア、学生、市職員等が参加し、運営スタッフから概要やルール、スタッフとしての心構え、おもてなしの在り方等について説明を受けた。
- こえび隊(※)を招いた説明会 および 一般ボランティアサポーター向けの説明会 を初めて開催した。
※芸術祭を支えるボランティアサポーター集団



ボランティアサポーターの声

- 報告書末尾のエピソード集に掲載した。

作品受付の様子



↑朝礼にて、その日のサポーター全員で
エイエイオーをする様子

08

広報

●プロモーション 自ら発信する広報活動

① 横断幕・のぼりの設置

- 横断幕は、市内の主要幹線道路沿いや観光スポット、市の施設等、**17カ所**に設置した。
- のぼりは、JR 詫間駅～須田港、臨時駐車場～須田港間、市役所前の道路沿いや須田港、粟島港、島内作品設置場所等、**135カ所**に設置した。



② ウェブメディア

- 島への来訪者の増加を図る目的で、芸術祭粟島会場特設ウェブサイトを 2025 年 7 月に立ち上げた。**粟島会場の情報集約拠点**として、**7 言語**（日・中(簡)・中(繁)・韓・英・仏・西・越）で発信した。
- インスタグラムと連動して、主に「人」に焦点をあてた現地からの情報発信を行うことで、共感や応援を生むことで、粟島のファン作りに貢献した。

— アクセスレポート（2025年9月1日～10月27日）

- ・アクティブユーザー数 **6,751 人**
 - ・ユーザーの約7割は、県内または関西圏であった。
- アクセス数の多いページは、
交通に関するページが 3,996 件、
次いでトップページが 3,996 件であった。

エリア	件数
高松市内	770
大阪府内	578
三豊市内	476
新宿区	363
広島市内	351

■ カテゴリー

- 特別企画(瀬戸内)
- 交通アクセス
- スポット
- 事業向け
- ボランティア
- 島ブログ
- その他

【スタッフブログ】秋会期中盤へ^{🇯🇵}島のぬくもりと賑わいを感じた1週間 <10/14(火)～10/19(日)>

<季節の移り変わりを感じています | 10/14(火)～10/19(日)の秋会場の様子> スタッフ「畑田ゴディ」と共に振り返る…秋会場の開幕から<10/14(火)～10/19(日)>までの粟島会場の1週間の様子をお届け！^{🇯🇵} 進んだ秋空とともに、[…]

2025年10月23日(木) 島ブログ

【スタッフブログ】3連休は大にぎわい！粟島会場の11日目までを振り返る <10/6(月)～10/13(日)>

<3連休には最大来島者を記録！ | 10/6(月)～10/13(日)の秋会場の様子> スタッフ「畑田ゴディ」と共に…秋会場の開幕から<10/6(月)～10/13(日)>の粟島会場の1週間の様子をお届け！^{🇯🇵} 島ではアーティストの旗立ち、[…]

2025年10月18日(土) 島ブログ

【スタッフブログ】ついに瀬戸芸開幕！激動の3日間を振り返る <10/3(金)～10/5(日)>

スタッフ「畑田ゴディ」^{🇯🇵}と振り返る… <激動の開幕3日間 | 10/3(金)～10/5(日)の様子> 10月3日(金)、ついに瀬戸内国際芸術祭2025・秋会期がスタートしました。準備からオープニング記念セレモニーまで、息をつく間も[…]

2025年10月7日(火) 島ブログ

③ 公式 Instagram

- 芸術祭に向けて多様な主体が参画し取り組んでいる過程をキャッチーに発信することで、**地域と一緒に** つくる**営みや成長のプロセスを可視化**するツールとして使用。
- **共感や応援を生む**ことで、**粟島のファン作り**に貢献した。
- フォロワー数は、8月末時点で724人であったが、閉幕後の11月9日時点で**2,103人**となり、**約3倍**に増加した。

..... 人気投稿ベスト3



No.1

＼ようこそ瀬戸内・粟島へ／

【#瀬戸内国際芸術祭 2025 粟島会場 | 新作一覧】

閲覧数 16,442 回

No.2

きょうのヒトコマ

【島に笑顔を咲かせる、高校生たち】

閲覧数 11,068 回

No.3

きょうのヒトコマ

【平日のしま時間 あわしま日記5日目】

閲覧数 10,854 回

④ 広報みとよ

- 芸術祭の舞台裏をシリーズ化(準備過程や現場の取組を可視化)して市民に周知することで、市民の理解を深め、芸術祭を“自分たちの取組”として捉える意識の醸成につなげた。

瀬戸内国際芸術祭 2025
瀬戸芸の舞台裏

in 粟島
会期：10月3日(金)～11月9日(日)

6月号

作家紹介 第1弾

作家紹介 第2弾

作家紹介 第3弾

作家紹介 第4弾

瀬戸内国際芸術祭 2025
瀬戸芸の舞台裏

in 粟島
会期：10月3日(金)～11月9日(日)

8月号

作家紹介 第2弾

作家紹介 第3弾

作家紹介 第4弾

作家紹介 第5弾

作家紹介 第6弾

作家紹介 第7弾

作家紹介 第8弾

作家紹介 第9弾

作家紹介 第10弾

作家紹介 第11弾

作家紹介 第12弾

作家紹介 第13弾

作家紹介 第14弾

作家紹介 第15弾

作家紹介 第16弾

作家紹介 第17弾

作家紹介 第18弾

作家紹介 第19弾

作家紹介 第20弾

作家紹介 第21弾

作家紹介 第22弾

作家紹介 第23弾

作家紹介 第24弾

作家紹介 第25弾

作家紹介 第26弾

作家紹介 第27弾

作家紹介 第28弾

作家紹介 第29弾

作家紹介 第30弾

作家紹介 第31弾

作家紹介 第32弾

作家紹介 第33弾

作家紹介 第34弾

作家紹介 第35弾

作家紹介 第36弾

作家紹介 第37弾

作家紹介 第38弾

作家紹介 第39弾

作家紹介 第40弾

作家紹介 第41弾

作家紹介 第42弾

作家紹介 第43弾

作家紹介 第44弾

作家紹介 第45弾

作家紹介 第46弾

作家紹介 第47弾

作家紹介 第48弾

作家紹介 第49弾

作家紹介 第50弾

作家紹介 第51弾

作家紹介 第52弾

作家紹介 第53弾

作家紹介 第54弾

作家紹介 第55弾

作家紹介 第56弾

作家紹介 第57弾

作家紹介 第58弾

作家紹介 第59弾

作家紹介 第60弾

作家紹介 第61弾

作家紹介 第62弾

作家紹介 第63弾

作家紹介 第64弾

作家紹介 第65弾

作家紹介 第66弾

作家紹介 第67弾

作家紹介 第68弾

作家紹介 第69弾

作家紹介 第70弾

作家紹介 第71弾

作家紹介 第72弾

作家紹介 第73弾

作家紹介 第74弾

作家紹介 第75弾

作家紹介 第76弾

作家紹介 第77弾

作家紹介 第78弾

作家紹介 第79弾

作家紹介 第80弾

作家紹介 第81弾

作家紹介 第82弾

作家紹介 第83弾

作家紹介 第84弾

作家紹介 第85弾

作家紹介 第86弾

作家紹介 第87弾

作家紹介 第88弾

作家紹介 第89弾

作家紹介 第90弾

作家紹介 第91弾

作家紹介 第92弾

作家紹介 第93弾

作家紹介 第94弾

作家紹介 第95弾

作家紹介 第96弾

作家紹介 第97弾

作家紹介 第98弾

作家紹介 第99弾

作家紹介 第100弾

瀬戸内国際芸術祭 2025
瀬戸芸の舞台裏

in 粟島
会期：10月3日(金)～11月9日(日)

7月号

6月7日(土) 粟島芸術家村入式を行いました

ようこそ粟島へ！アートで島を元気に

作家2人のほか、粟島芸術家村
総合ディレクターの白比野 克彦
さんも参加し、島民の皆さんと交
流しました。

作家2人のほか、粟島芸術家村
総合ディレクターの白比野 克彦
さんも参加し、島民の皆さんと交
流しました。

作家2人のほか、粟島芸術家村
総合ディレクターの白比野 克彦
さんも参加し、島民の皆さんと交
流しました。

10月号

9月号

11月号

● 広告 お金を払って掲載したもの

媒体名	掲載日	サイズ等
四国新聞	9月19日(金)	全5段カラー(3市2町連合)
	10月3日(金)	
miteGo	10月号	横128mm×縦87mm(1/2ページ)
番組名	放送日	内容
RNC・RSK 共同ラジオ 番組 島々ラジオ	10月4日(土)	【県の取組み】作家の青野さんが県職員と出演し、作品の情報や翌日のオープニングセレモニーについて語った。
FM香川 WEEKEND SHUTTLE	9月26日(金)	【市の取組み】作家の柏木さん・サリナさんが出演し、粟島での作品制作について語った。

▶ 四国新聞

●パブリシティの実績 メディアが自主的に取り上げてくれたもの

テレビ ※は全国放送、★は国外放送

番組名	放送日	内容
ゆう6かがわ	4/24(木) 18:10～	粟島芸術家村のこれまでの取組み
ゆう6かがわ	5/29(金) 18:10～	粟島での宝探しと題した、スポットの紹介
News Park KSB	6/12(木) 18:15～	粟島芸術家村の入村式の様子
NHK World Japan (★)	6/24(火)	粟島芸術家村の様子 約160の国と地域に向けた放送
news every.	7/25(金) 18:15～	粟島で開催された「ゲル(遊牧民の伝統的住居)」の立ち上げの様子
ゆう6かがわ	8/26(火) 18:10～	三豊をもっと好きになる。アイデアおにぎりコンテスト 最終審査の様子
テレビせとうち 開局40周年記念特別番組	9/23(火・祝) 12:55～	粟島で作品を制作した作家、作品の紹介
News Park KSB	9/23(火・祝) 18:15～	粟島での作品制作ラストスパートの様子
news every.	9/26(金) 18:15～	準備が大詰めを迎えている粟島の様子
News Park KSB	9/30(火) 18:15～	粟島芸術家村の様子
News Park KSB	10/7(火) 18:15～	粟島の作品紹介・作家インタビュー
撮れ高できるまで帰しません!	10/12(日) 10:25～	日本最古の海員学校があった、 自然とアートが共存する「粟島」の紹介
いまドキッ!	10/17(金) 15:49～	粟島で作品制作をしたアーティスト3名の紹介
日曜美術館 (※)	11/2(日) 20:00～	特集「アートでめぐる SETOUCHI」の番組内で、尾崎世界観さんが、粟島の個性豊かなアート体験を楽しむ様子を紹介
いまドキッ!	11/4(火) 10:30～	(前編)高校生リポーターによる粟島の作品紹介・作家インタビュー
いまドキッ!	11/6(木) 10:30～	(後編)高校生リポーターによる粟島の作品紹介・作家インタビュー
ナニコレ珍百景 (※)	11/9(日) 20:00～	「届け先のない手紙が集まる…漂流郵便局がある離島」として 粟島を紹介
「人生の楽園」～同級生夫婦 瀬戸内の美食宿～ (※)	12/13(土) 18:00～	岐阜県から「ずっと憧れていた瀬戸内地方」である三豊市へ移住後、 宿をオープンした夫婦の物語中で粟島を紹介

SNS

メディア名	掲載日	内容
シンガポールメディア Asia One (★)	2026/1/21(水)	『暮らすように旅する』～四国の暮らしと青を求めて～ をテーマとした、徳島県・香川県・高知県を巡る旅の記事の中で粟島を紹介

09

視察、校外学習の受入れ

- 瀬戸内国際芸術祭の取組について、広く市内の小・中・高等学校の児童生徒および国内外の行政機関に周知するため、視察および校外学習の受入れを行った。
- また、2024年12月6日の三豊市校長会等において、市内の小・中・高等学校および幼稚園に対し、校外学習や遠足で芸術祭栗島会場へ来場いただけるようPRを行った。



実績

視察

区分	件数	備考
国内	3	福武財団、洞爺湖町行政訪問団、美波町
国外	1	フランス・ベルギー自治体幹部職員

校外学習

区分	件数	備考
国内	3	香川西高校、仁尾小学校、認定こども園虹ヲ渡り
国外	1	韓国淳昌郡中学生訪問団

学校連携事業 県の取組み

- 中学生・高校生が、瀬戸内国際芸術祭に参加するアーティストと、アートに関する講義やワークショップを通じて交流することにより、自分たちが暮らしている地域の魅力を学ぶとともに、自ら考えて行動する経験をする中で、豊かな心や想像力をはぐくみ、人間性を磨き高める一助となることを目指し、受講希望があった中学校・高校を訪問して、美術の授業等で実施した。

三豊市内での実績

- 2025年9月26日 仁尾中学校
- 日本人作家:佐藤悠氏による、線描から立体・影絵表現へ展開する創作および鑑賞を行うワークショップを開催した。



10

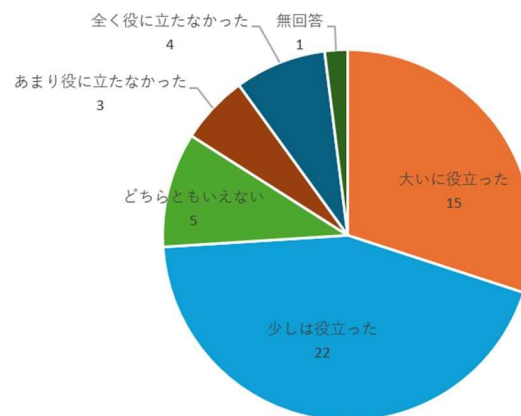
島民の評価

(1) アンケート結果（県実行委員会資料より抜粋）

- 一 芸術祭終了後、粟島の島民を対象にアンケート調査を実施し、**50名から回答**があった。
（全体の数は、作品展示会場の住民を対象に、2,616名から回答があった）

- ① 芸術祭 2025 が地域の活性化に「大いに役立った」、「少しは役立った」と回答した粟島の住民は、**74.0%**であった。

回答	粟島		全体
大いに役立った	15人	30%	33.7%
少しは役立った	22人	44%	44.3%
どちらともいえない	5人	10%	10.7%
あまり役に立たなかった	3人	6%	7.1%
全く役に立たなかった	4人	8%	4.2%
無回答	1人	2%	-

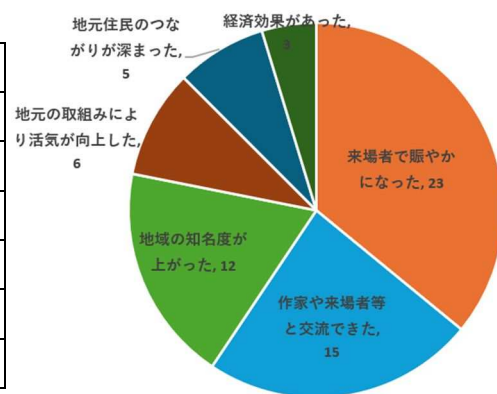


- ② 自分が住む地域に芸術祭の作品が設置されたことについて、「たいへん良かった」、「まあまあ良かった」と回答した粟島の住民は、**74.0%**であった。

回答	粟島		全体
たいへん良かった	17人	34%	32.8%
まあまあ良かった	20人	40%	43.5%
どちらともいえない	8人	16%	12.7%
あまり良くなかった	3人	6%	8%
悪かった	1人	2%	3%
無回答	1人	2%	-

▶何が良かったか（複数選択可 /内訳）

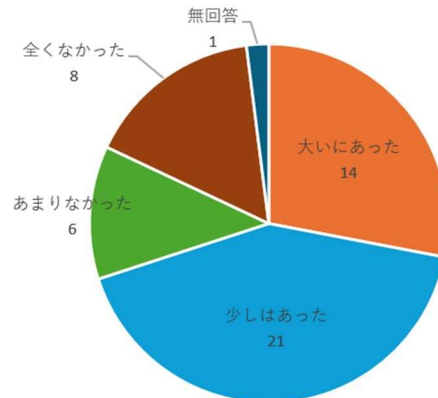
来場者で賑やかになった	23人	36%
作家や来場者等と交流できた	15人	23%
地域の知名度が上がった	12人	19%
地元の取組みにより活気が向上した	6人	9%
地元住民のつながりが深まった	5人	8%
経済効果があった	3人	5%
移住者が増えた	0人	0%



- 芸術祭は「賑わいの創出」に最も寄与しており、島に活気をもたらした。
- 作家・来場者との交流を通じて、外部とのつながりや地域の知名度向上といった社会的効果が生まれた。
- 一方で、島内の事業者数が少なく高齢化が進んでいることから、経済効果や移住増加といった成果は短期間では現れにくい。

③ 作家や来場者との交流が「大いにあった」、「少しはあった」と回答した粟島の住民は、**70.0%**であった。

回答	粟島		全体
大いにあった	14人	28%	9.4%
少しはあった	21人	42%	27.8%
あまりなかった	6人	12%	15.9%
全くなかった	8人	16%	45.6%
どちらともいえない	0人	-	1.3%
無回答	1人	2%	-



④ 作品受付やボランティアなどに「関わった」、「少し関わった」と回答した粟島の住民は、**56.0%**であった。

▼作品制作・受付、来場者の見送り、案内、食事の提供など関わったか

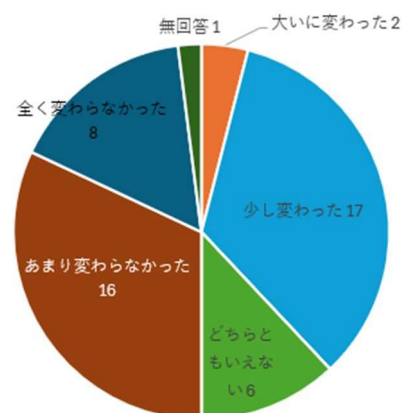
回答	粟島		全体
関わった	20人	40%	12.6%
少し関わった	8人	16%	12.2%
関わっていない	21人	42%	75.2%
無回答	1人	2%	-



- ⑤ 芸術祭を通じて自分が住む地域の見方が「大いに変わった」、「少し変わった」と回答した粟島の住民は、**38.0%**であった。

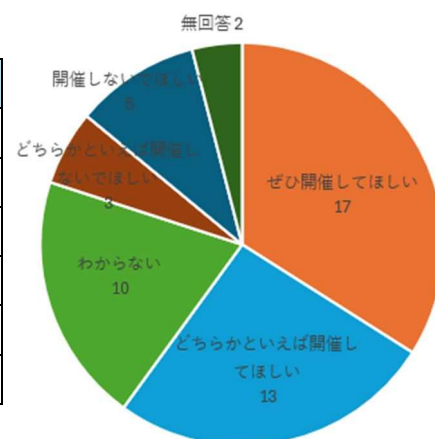
▼地域の再発見や愛着、地域に対する思いや見方が変わったか

回答	粟島		全体
大いに変わった	2人	4%	7.9%
少し変わった	17人	34%	33.2%
どちらともいえない	6人	12%	10.9%
あまり変わらなかった	16人	32%	33.1%
全く変わらなかった	8人	16%	14.9%
無回答	1人	2%	-



- ⑥ 今後も芸術祭を「ぜひ開催してほしい」、「どちらかといえば開催してほしい」と回答した粟島の住民は、**60.0%**であった。

回答	粟島		全体
ぜひ開催してほしい	17人	34%	34.3%
どちらかといえば開催してほしい	13人	26%	35.2%
わからない	10人	20%	15.7%
どちらかといえば開催しないでほしい	3人	6%	8.5%
開催しないでほしい	5人	10%	6.3%
無回答	2人	4%	-



- 粟島では、作家・来場者との交流が「あった」と感じた住民が70%(28%+42%)と、全体平均(約37%)を大きく上回っており、交流効果が特に高い地域である。
- 芸術祭への関与(受付・ボランティア等)が56%と、全体(約25%)の2倍以上であり、住民参加型の運営が実現している。
- 今後の開催を希望する住民が60%と多数を占めており、地域として一定の支持基盤が形成されている。

(2) 意見交換会での島民の意見

— 芸術祭閉幕後、島の自治会役員や関係者等との意見交換会を開催した。

開催日 令和7年12月10日(水) 10時より

開催場所 粟島開発総合センター 2階

〈主な意見〉

- ・ 14:30 過ぎたら 17:15 まで船がないので、お客さんがそわそわして作品を見ない。
会期前に周知しなくていいから、**土日は 15:30 に出すとか周知してほしい。**
- ・ **臨時便の運航については賛否両論**ある。臨時便が出ると聞くとお客さんは帰る。お客さん優先も大事だが、島のためにと考えてくれている事業者が次来なくなるのではと心配。
- ・ 関係性を築いたところに、**瀬戸芸の担当が毎回変わる**ので、島民も市も困る。
- ・ **飲み物、食べ物はどこにあるのか、切符の場所もわからない**とたくさん聞かれた。
- ・ 来場者に**作品のアンケート**をとったらどうか。良い作品を残せるデータになる。
- ・ 島民への情報共有をどうやるか。島民が取り残されることがないように、**島のみんなが同じ情報を持てるようにしてほしい。**島民が瀬戸芸に関して知らないことが多い。
- ・ 来場者から、3年前に聞けなかった良い感想を多数聞くことができた。**島民として作品制作に関わったおかげで、作品の説明がしやすかった。**

前回(2022)の意見	今回(2025)の対応
継続作品が多いため、新規作品を制作してほしい。	新規作品を6作品制作した。
プランの共有をもっと早くからしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・市から県に対して、プランの早期共有を要求した。 結果 今回の粟島の制作着手期間はこれまでで最も早かった。 ・また、日本作家、ベトナム作家ともに、島に短くて2~3週間、長くて4か月間滞在し、島民とコミュニケーションをとりながら作品制作を行った。 ・今回初めて、市主催の島民説明会を2回開催しプランの共有を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①令和7年5月14日(水) 最新情報の共有 ②令和7年10月1日(水) 最新情報の共有、作品案内
芸術家村は有料作品と無料作品が混在し、案内し辛かったので見直してほしい。	芸術家村の入館料として一律 1,000 円をいただき、 有料・無料が混在せず、スムーズな案内 ができた。
市内の子どもが来てくれる方法を考えたい。	重点取組として、 市内の子ども達との連携を強化した。 また、校長会での周知も行った。

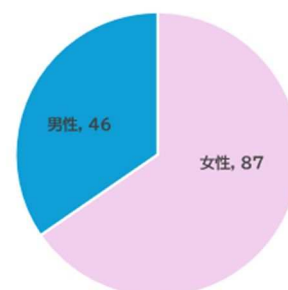
来場者、市内事業者の評価

(1) 来場者の評価（粟島に来たお客様のアンケートから / 県実行委員会資料）

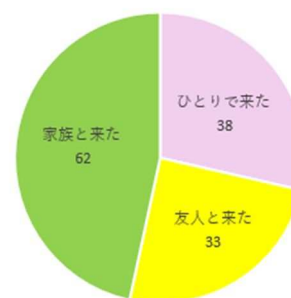
芸術祭会期中、粟島港にて乗船待ちの来場者を対象にアンケート用紙を配布・回収した。
各案内所において、アンケート二次元コードを掲示し、オンラインによるアンケート調査も実施した。
133名から回答があった。

- 属性**
- 女性が65.4%、男性が34.5%であった。
 - 「家族と来た」が46.6%、「ひとりで来た」28.6%、「友人と来た」が24.8%であった。
 - 50代が最も多く26.3%、次いで30代の21.1%、60代が20.3%であった。

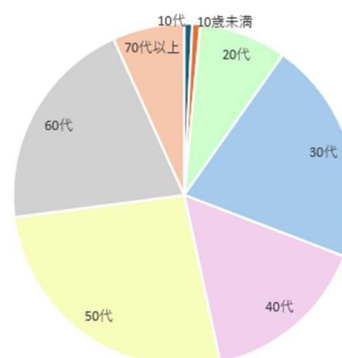
性別	粟島		全体
女性	87人	65.4%	63.7%
男性	46人	34.6%	35.4%
無回答	-	-	0.9%



グループ関係	粟島		全体
ひとりで来た	38人	28.6%	22.0%
友人と来た	33人	24.8%	33.2%
家族と来た	62人	46.6%	41.8%
その他	-	-	3.0%



年齢	粟島		全体
10代未満	1人	0.8%	-
10代	1人	0.8%	3.2%
20代	11人	8.3%	18.7%
30代	28人	21.1%	21.6%
40代	21人	15.7%	19.1%
50代	35人	26.3%	20.4%
60代	27人	20.3%	12.8%
70代以上	9人	6.7%	4.2%

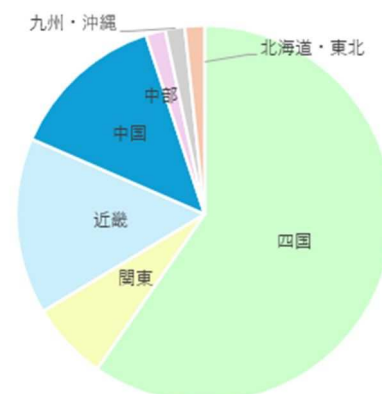


- 居住地は、**香川・岡山両県が 58.7%**、その他の国内が32.3%、国外が 7.5%であった。
- 国内来場者の地域別では、四国地方が 59.8%、次いで近畿地方が 15.1%、中国地方が 13.5%、関東地方が 6.8%であった。
- 国外は、**台湾、中国、韓国が多く、国外来場者の 80%を占めている。**
- 過去の芸術祭にも来場した、いわゆるリピーターは69.2%であった。

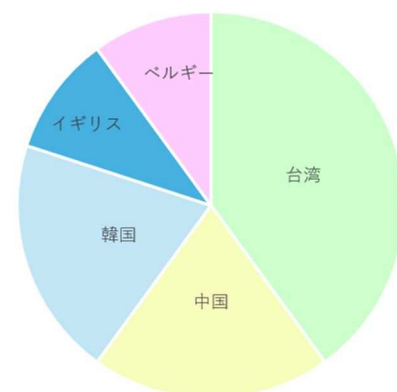
来場者居住地	粟島		全体
香川県	67人	50.4%	27.4%
岡山県	11人	8.3%	9.4%
その他国内	43人	32.3%	40.2%
国外	10人	7.5%	23.0%
未回答	2人	1.5%	-



国内来場者居住地	粟島		全体
四国	71人	59.8%	42.2%
関東	8人	6.8%	18.7%
近畿	18人	15.1%	15.6%
中国	16人	13.5%	15.5%
中部	2人	1.6%	4.5%
九州・沖縄	2人	1.6%	2.2%
北海道・東北	2人	1.6%	1.3%



国外来場者居住地	粟島		全体
台湾	4人	40.0%	44.9%
中国	2人	20.0%	23.0%
香港	-	-	10.1%
アメリカ合衆国	-	-	3.0%
フランス	-	-	2.5%
韓国	2人	20.0%	2.4%
オーストラリア	-	-	2.2%
シンガポール	-	-	2.0%
ドイツ	-	-	1.2%
イギリス	1人	10.0%	1.0%
その他	1人	10.0%	7.7%



過去の芸術祭への来場の有無	粟島		全体
あり	92人	69.2%	45.9%
なし(無回答含む)	41人	30.8%	54.1%

<粟島会場の特徴>

●地元・近隣圏に強く支えられている

- 香川県在住が 50.4%(全体 27.4%)と約 2 倍。
- 四国全体でも 59.8%(全体 42.2%)と高く、関東は 6.8%(全体 18.7%)と低い。

●中高年層の比率が高い

- 50代(26.3%)、60代(20.3%)、70代以上(6.7%)が全体より高い。
- 20代は 8.3%(全体 18.7%)と半分以下。

●リピーター比率が非常に高い

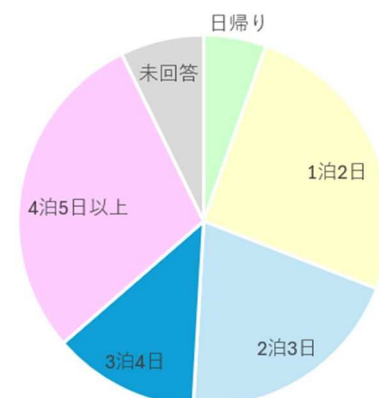
- 粟島は芸術祭ファン・コア層に支持されている

来場者の滞在・宿泊状況

- 香川・岡山県以外からの来場者の平均滞在日数は、**3.1日**であり、宿泊者の平均宿泊数は**2.4泊**であった。
- 香川・岡山県以外からの来場者の宿泊地は、**高松市内が44.3%**、次いで丸亀市が24.6%、観音寺市が6.6%であった。

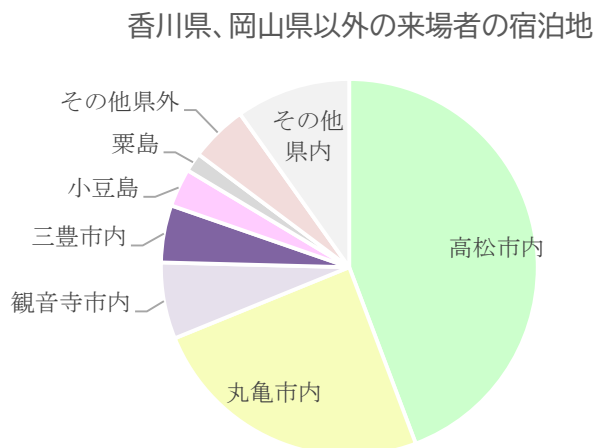
▶香川県、岡山県以外からの来場者の滞在(宿泊)日数 55人

国内来場者居住地	粟島		全体
日帰り	3人	5.4%	15.3%
1泊2日	14人	25.5%	15.9%
2泊3日	11人	20.0%	24.8%
3泊4日	7人	12.7%	15.8%
4泊以上	16人	29.1%	28.2%
未回答	4人	7.3%	-



▶香川県、岡山県以外の来場者の宿泊地（複数回答あり） 55 人

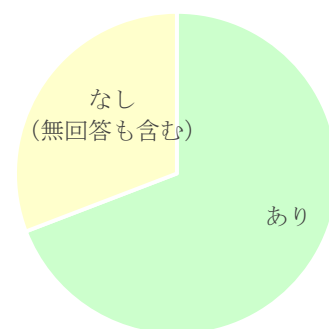
宿泊地	人数	割合
高松市	27人	44.3%
丸亀市	15人	24.6%
観音寺市	4人	6.6%
三豊市(栗島除く)	3人	4.9%
小豆島	2人	3.3%
栗島	1人	1.6%
その他県外	3人	4.9%
その他県内	6人	9.8%



香川県内の他の観光地への訪問

- 約1.4人に1人が、香川県内の芸術祭以外の観光地を訪問している。

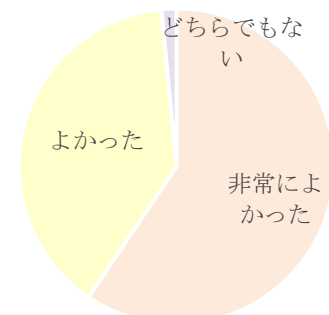
あり	92人	69.2%
なし	41人	30.8%



芸術祭に対する評価

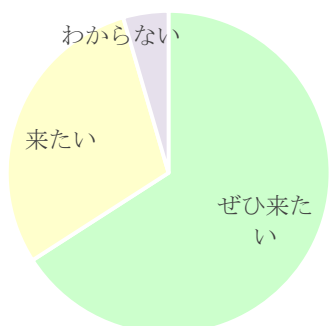
- 98.5%が「非常に良かった」「良かった」と評価している。

非常に良かった	79人	59.4%
よかった	52人	39.1%
どちらでもない	2人	1.5%



- 次回芸術祭が開催された場合、94.7%が「ぜひ来たい」「来たい」と回答している。

ぜひ来たい	87人	65.4%
来たい	39人	29.3%
わからない	6人	4.5%
未回答	1人	0.8%

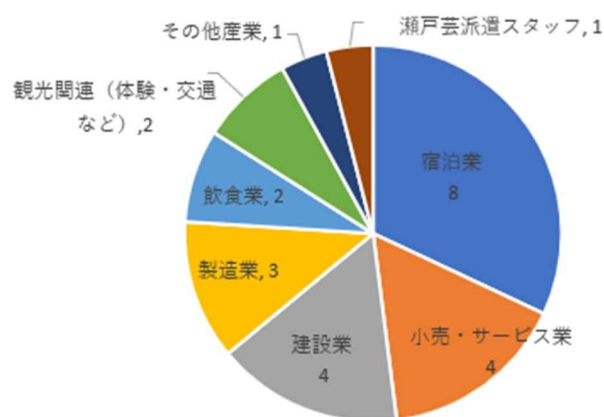


(1) 市内事業者の評価 (アンケートから / 市実行委員会資料)

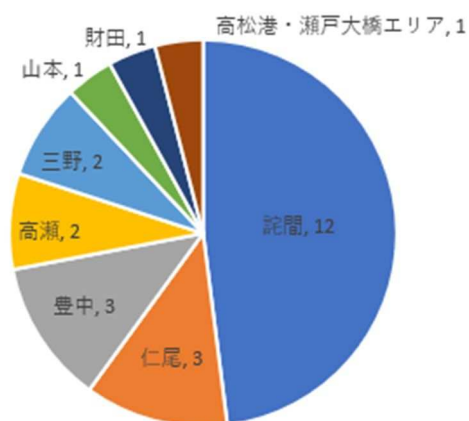
芸術祭終了後、芸術祭会期中に三豊市内で事業を行った事業者を対象にアンケート調査を実施し、25者から回答があった。

属性

業種	人数	割合
宿泊業	8	32%
小売・サービス業	4	16%
建設業	4	16%
製造業	3	12%
飲食業	2	8%
観光関連(体験・交通など)	2	8%
その他産業	1	4%
瀬戸芸派遣スタッフ	1	4%
計	25	100%



エリア	人数	割合
詫間	12	48%
仁尾	3	12%
豊中	3	12%
高瀬	2	8%
三野	2	8%
山本	1	4%
財田	1	4%
高松港・瀬戸大橋エリア	1	4%
計	25	100%



芸術祭に対する認知度・関心

- 芸術祭に対する認知度・関心について、5段階評価（5＝最も高い）で尋ねたところ、**全体平均は4.12**であった。
- 「5」と回答した理由の主なものは、「**来客・問い合わせが増えたため**」であった。

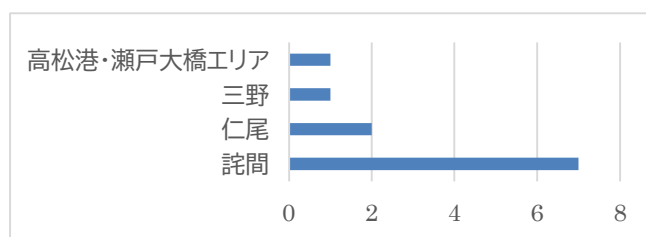
回答	回答数	割合
5（知っている・関心がある）	12	48%
4	6	24%
3	6	24%
2	0	0%
1（知らない・関心がない）	1	4%

芸術祭による事業への影響

- 芸術祭による事業への影響について、5段階評価（5＝非常に良い影響）で尋ねたところ、**全体平均は3.5**であった。
4または5と回答した事業者数は、**11事業者、割合は49%**であった。
- 「2」と回答した理由の主なものは、「**つながりが無かった、一部事業者しか参加していない**」であった。

回答	回答数	割合
5（良い）	5	20%
4	6	24%
3	12	48%
2	2	8%
1（悪い）	0	0%

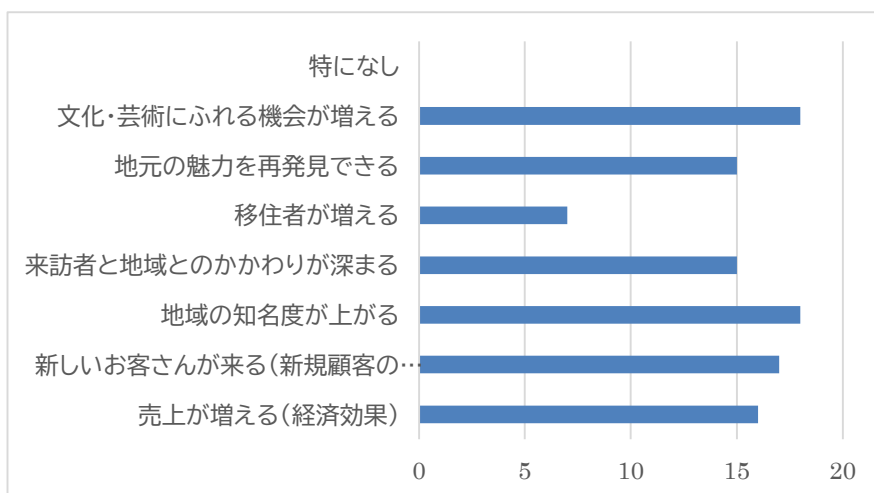
▶ 4または5と回答した事業



- 芸術祭に対する認知度・関心は平均 **4.12** と高く、地域事業者において一定の関心・理解が浸透している。
- 芸術祭が事業に「良い影響を与えた」と評価(4 または 5)した事業者は **44%**であり、来客・問い合わせ増加など具体的な効果を実感している層が存在する。
- 一方で、評価 3 が 48%と最も多く、「**効果を実感しきれない層**」が半数近く存在している。

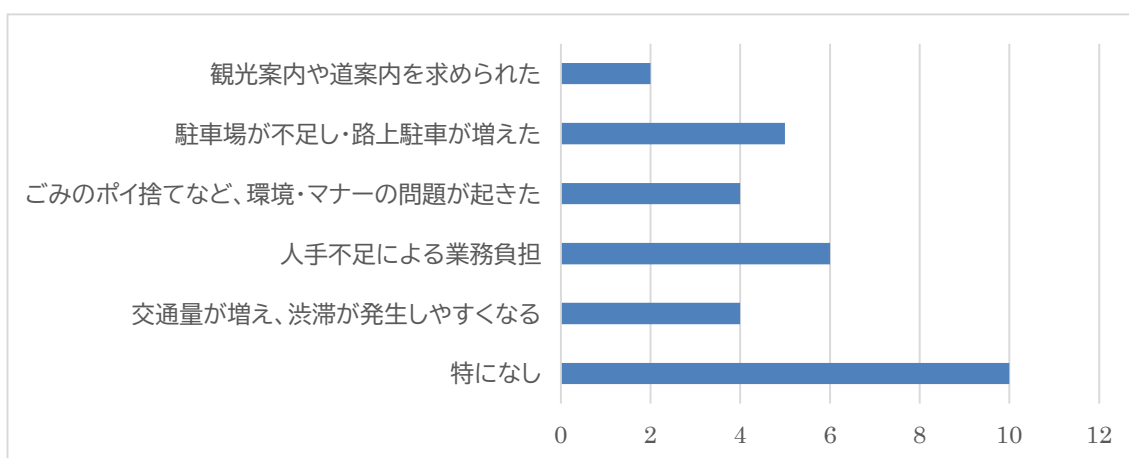
芸術祭がもたらすプラス面

- 外向き効果（知名度・新規顧客・売上）、内向き効果（誇り・再発見・関係深化）
文化的効果（芸術に触れる機会）等、**バランスのとれた効果**が見られた。
- その他の意見として、「**市内事業者と協力して繋がりを増やすことができる**」等があった。



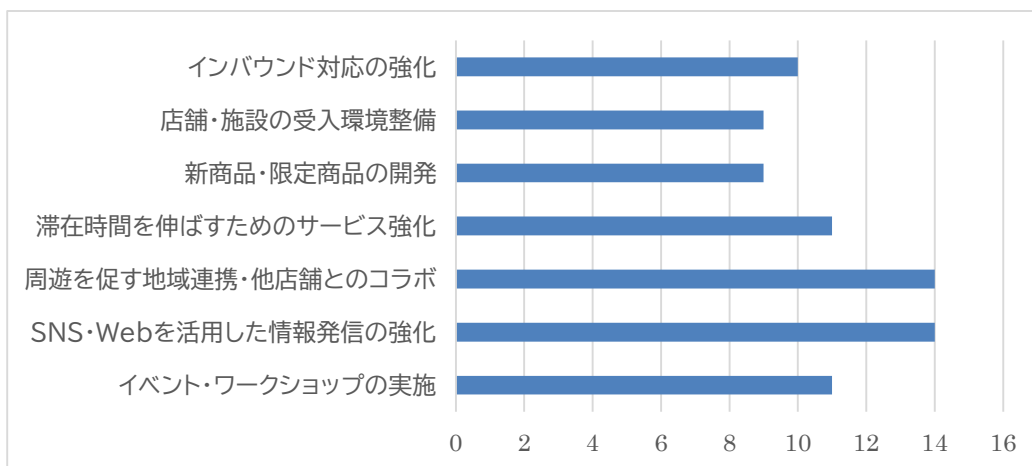
芸術祭がもたらすマイナス面

- **40%**は特になしと回答した。
- 一部に交通・人員体制等の課題が見られるものの、芸術祭そのものに対する否定的評価は限定的で、全体としては成果が課題を大きく上回っている。
- その他の意見として、「**お客様は芸術祭作品しか見ず、他の観光スポットに寄らない**」等があった。



芸術祭に合わせて行いたい取組み

- SNS/webの強化や地域連携・コラボが最も多く、
芸術祭を契機として自らの事業を発展させようとする積極的な取組意向が多く示された。
- その他の意見として、「市民の文化芸術活動の活性化」、「芸術祭が市の財政・地域経済に寄与するという理解の浸透」、「船移動の充実など、海の価値の再認識」等があった。



粟島の芸術祭の参加時期

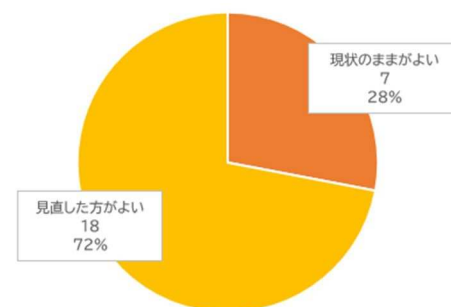
- 「現状(秋会期のみ参加)のままがよい」が28%、「見直した方がよい」が72%であった。

●現状のままがよいとする主な理由(要約)

- ・ 短期開催の方が**特別感・希少性が保たれる**ため
- ・ 現状でも人員体制が限界に近く、**拡大は負担増**につながる
- ・ **限られた予算の中で質を高める**には、現行規模が適切

●見直した方がよいとする主な意見(要約)

- ・ 春、夏会期は連休があり、**集客増加や地域活性化が期待**できる。
- ・ 秋会期は**地域のお祭り**と重なる。
- ・ 参加時期を広げることで**アーティストや作品の幅も広がる**。
- ・ 高松港等で発生している**来訪者集中の受け皿**になり得る。
- ・ ただし、**島民負担を増やさない体制整備**(島外拠点・外部人材活用・段階的準備)が前提条件。



- 粟島の会期については、現状維持を求める声がある一方で、
地域活性化や集客拡大、エリア価値向上への期待から、見直しを望む意見も多数あった。
今後は、島民負担や受入体制を十分に踏まえたうえで、段階的かつ戦略的な展開を検討する。

12

芸術祭開催による効果

2-1. 経済波及効果

(1) 芸術祭全体の経済効果について

令和 2 年香川県産業連関表等を用いて推計した、「瀬戸内国際芸術祭 2025」開催に伴う香川県内における経済波及効果は、以下のとおりであった。

①波及効果

経済波及効果	直接効果	1次波及効果	2次波及効果
195 億円 うち春会期 47 億円 夏会期 44 億円 秋会期 103 億円	130 億円 うち春会期 31 億円 夏会期 30 億円 秋会期 69 億円	42 億円 うち春会期 10 億円 夏会期 9 億円 秋会期 22 億円	23 億円 うち春会期 5 億円 夏会期 5 億円 秋会期 12 億円

直接効果：芸術祭の来場者による県内消費金額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの
 1次波及効果：直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額
 2次波及効果：直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額
 前提条件：瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数等を踏まえ、試算上の人員を26.7万人として推計。

【日本銀行高松支店及び瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同で作成】

②消費金額等

	県内		県外		海外	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
構成比	1.8%	24.7%	33.5%	16.0%	22.2%	1.8%
1人あたり消費金額	43,907 円	14,483 円	65,863 円	14,174 円	139,832 円	19,316 円

香川県における経済波及効果は、**前回比+92 億円増加(前回比+89%)の195 億円**となった。

理由①来場者数(108 万人)が前回より 36 万人増加したこと

理由②消費金額が大きい「宿泊を伴う来場者」(なかでも海外)の比率上昇などを受けて平均消費金額が大幅に増加したこと

※ 新型コロナウイルス感染症の影響がみられていない前々回(2019年)対比では、経済波及効果は+16億円(前々回比+9%)となった。これは、来場者数は9万人の減少となったものの、平均消費金額がこの間の為替円安や物価上昇のほか、「宿泊を伴う来場者」の比率上昇などから、前々回を上回ったため。

③その他地域経済への効果等 全体

- 観光庁(四国運輸局)によると、2025年1月から10月までの香川県内の延べ宿泊者数は、**前年比101.8%**で、外国人に限ると、**同127.7%**だった。
また、8月の都道府県別の客室稼働率において、香川県が69.4%と**全国7位の稼働率**であった。
- 四国運輸局の調べでは、会期中における会場の島々への**航路利用者が前年比136.4%**となった。
方面別では、いずれも対前年比で、
 - ・直島・豊島・犬島方面が154.8%
 - ・男木島・女木島・大島方面が137.2%
 - ・小豆島方面が122.7%となったほか
 - ・秋会期開催の本島・高見島・栗島・伊吹島方面は**125.7%**であった。
- **高松空港**の2025年4月から10月までの**利用実績は、前年比107.8%**であった。
特に芸術祭の会期の中心となる5月、8月の2カ月では**前年比109.5%**であった。
(※高松空港株式会社が毎月発表している「高松空港旅客輸送実績」より実行委員会事務局で集計。)
- JR四国の2025年度上半期(4月~9月)の**鉄道運輸収入は、前年同期比で4.6%(約6億5,300万円)の増加**となった。
- 英国放送協会(BBC)が選出した「2025年に旅行したい25カ所(The 25 best places to travel in 2025)」にて、直島が日本国内で唯一選ばれ、瀬戸内国際芸術祭が紹介された。
- 香川県が公表している県内の**主要観光地(栗林公園、屋島、琴平、小豆島)の2025年1月から10月までの累計入込客数は387万2千人で前年比105.8%**となった。
- 「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2025」で、香川県が都道府県魅力度ランキングで総合満足度1位となった。
- あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)が国連教育科学文化機関(ユネスコ)本部で創設された「ベルサイユ賞(Prix Versailles)」の「世界で最も美しいアリーナ(The World's Most Beautiful Arenas) 2025」の1つに選出された。

【瀬戸内国際芸術祭実行委員会 発表資料】

13

エピソード集

この度の、瀬戸内国際芸術祭 2025にて、粟島会場での運営等に関わってくださった方々のエピソードを紹介します。

- ボランティアとして作品受付に入って下さった地元企業様から、
「弊社のボランティア参加スタッフは、皆とても満足しており、良い経験になったと感想を聞かせてれています。市職員の皆さまやボランティア経験者の方々が本当に気を配ってくださるおかげで、安心して活動できているようです。職員の皆さまの丁寧でスムーズなご指導・サポートに感謝申し上げます。」というメールをいただいた。
- 作品受付ボランティアに入っていたいただいたこえび隊の方から、
「他の島にも行っているが、粟島の島民やスタッフなど全体の雰囲気がとても良かったことに驚いた。また、スタッフに女性が多いことも他の島と違って驚いた。作品も良かったし、粟島の良さがとても伝わった。」と言っていた。
- ボランティアとして様々な場面に関わっていただいた先生や学生から、
「とても貴重な体験ができた。はじめて粟島に来たという生徒もいた。また島に来たいと言っている。学校と家庭以外で、企業や地元の方等の大人と交流することができたのは、とても良かった。また参加したい。」という声がきかれ、運営側にとっても大変嬉しかった。
- オープニング記念セレモニーに参加した方から、
 - ・島民を含めておじいちゃんおばあちゃんが涙していた
 - ・芸術の力を感じた
 - ・足が立たないくらい感動した
 - ・香川でこんな企画ができるなんて嬉しかった(アーティストより)



一 以下は、**来場者からのコメント**をスタッフが日報に記したもののから抜粋

- ・芸術家村の作品を2時間見た！とにかくすべて良かった。ゲル・洞窟・刺繍も素晴らしかった。
- ・今回の粟島はとても良かった！最高！
- ・さすが、瀬戸芸。素晴らしい！本当に感動しました！
- ・粟島が1番素敵だった。自然と芸術作品がマッチしている！（東京から来られた方より）
- ・粟島が1番良かった！粟島のホスピタリティが素晴らしい。
- ・何十年ぶりに粟島に来ることができ、すごく懐かしく、嬉しい。（旧粟島中学校卒業生より）
- ・特にサリナさんの作品に感動。全作品にベリーグッド！（カナダから来られた方より）
- ・ぶいぶいガーデン（島民作）にも行ったが、すごく歓迎してもらえて嬉しかった。
- ・JR ツアーが雨天のため中止となったが、粟島は外せないため個人で来た。今日は雨の中、修行のようなコースとなったがそれもまたよし。
- ・1時間ぐらいいたがまだ時間が足りないので3年後にまた来ます！（エステル・ストッカーの大ファンより）
- ・香川の島はどれも素敵。瀬戸芸を通して香川県のファンになった。
- ・春、夏、秋全会期きている。瀬戸内海が大好きですべての島を見学してきた。
- ・島民の方がフレンドリーで楽しかった！
- ・「芸術って素敵ですね」と感心していた。（グエン・チン・ティの作品をじっくり見られた、仙台から来られた方より）

一 以下は、**スタッフ(ボランティアサポーター)**が感じたことを日報に記したもののから抜粋

- ・来場者から、
「のどかで良いところ」「三年に一回だけなんて勿体ない」といった感想を多くいただき、粟島の魅力が来訪者にしっかり伝わっていることが実に印象的であった。
- ・刺繍部屋のおばあちゃんが毎日、作品受付スタッフに温かい飲み物とお菓子を差し入れてくれ、その温かさに元気をもらった。嬉しかった。
- ・島の方々が手作りで刺繍されているサコッシュを気に入った台湾の方々が、作業中の島の方々に柄の質問をしたり、オーダーメイドで作って欲しいとおっしゃっていたりして、島の方々とお客様の交流があって素敵だった。
- ・初めてスタッフとして参加したのですが、経験のある知識豊富なスタッフの方や優しい職員の皆さん、温かい島民の方々が話してくださり楽しく受付ができた。
- ・笑顔で会場を出て行かれるお客様が多くいた。（満足度が高く、芸術家村全体が好評）
- ・上新田の島民の方が家族で来て、久しぶりに顔を見せてくれたと、島のお母さんたちと楽しくおしゃべりして帰られた。（島民同士のつながる機会にもなっている）
- ・作品受付にて、12年ぶりにアート関連の知人に再開し、非常に喜んでくれていた。
（粟島がつなぐ縁を感じた）

- ・海外のお客様が多かった。(台湾、中国、韓国、イギリス、カナダ、アメリカ、スイス、モンゴル、フランス、アイスランド、メキシコ、オーストラリアなど…)
- ・配置されたボランティアみんなで協力して楽しく運営ができた！ありがとう。
みなさんのおかげで楽しくボランティアできました！
- ・鬼瓦に関心をもち、郵便局マークの瓦は可愛いとみんな笑顔になった
- ・台湾から1人で来られた方に説明させていただいたら喜んでいただき、帰りにお土産(お菓子)をいただいた。
- ・グエン・チン・ティさんの作品にて。
手紙同士の繋がりややり取りが生まれることもあって、見ず知らずの人がつながっている様子を感ずることができた。(掲示された手紙にリアクションする姿、返事を書く方…色々な繋がりを感じられた)
- ・1人1人に丁寧な説明を心がけたところ、ほとんどのお客様に「ありがとう」とお礼の言葉をもらえた。
- ・郵便局開局時の職員さんが顔を出してくださり、懐かしがっておられた。
- ・こえび隊で作品制作前にお手伝いをしたという方が、大阪からきてくれた。
完成した作品を見てとても喜んでいました。



一 終わりに

本年度の粟島会場での取組は、来場者の受入れにとどまらず、地域の人材育成や協働体制の強化、関係人口の拡大につながるものとなりました。

市内の子どもたちとの地域を盛り上げる様々な取組みを通じて、芸術祭は「作品を鑑賞する場」から「地域や次世代とともに創り上げる場」へと広がりました。こども達が主体となって取り組んだ商品開発や観光プロモーションも、地域産業や観光振興と学校教育を結びつける実践として、新たな広がりを感じさせるものとなりました。

また、本年度は企業や学生ボランティアの参加者数が過去最多となり、多様な立場の方々が芸術祭運営に関わる体制が一層強まりました。三豊市に関わる人材の輪が確実に広がっていることを実感しています。

さらに、島民の皆さまから行政運営に対して高い評価をいただけたことは、地域との信頼関係が着実に深まっていることの表れであると受け止めています。

芸術祭は、三豊市の魅力を広く発信する機会であると同時に、人と人、人と地域をつなぐ場でもあります。本年度の取組みで得られた経験やつながりを、今後の地域づくりに活かしてまいります。



粟島の方の温かな笑顔に支えていただきました。

本当にありがとうございました。





瀬戸内国際芸術祭 2025 粟島総括報告

発行者 瀬戸内国際芸術祭三豊市実行委員会

発行日 2026年2月